



横浜市立相沢小学校

学校だより

4月号

R.4.4.7

さくら き ささ どだい たいせつ
～桜の木を支えるのは・・・土台づくりを大切に～

こうちょう みやじ
校長 宮路 ますみ

ころ なか だっきやく くる ひび つづ なか はる かくじつ
なかなかコロナ禍から脱却できない苦しい日々が続いていますが、そんな中でも春は確実にやってくるも

うつく さくら こころうば き わたし
のです。美しい桜に心奪われて、気もそぞろになるのは私だけでしょうか。

はる いずみくおかつしょうがっこう こうちょう ふにん みやじ もう ぜんにん のぐちこうちょうせんせい
この春、泉区岡津小学校より校長として赴任いたしました宮路 ますみと申します。前任の野口校長先生

どうよう あいざわしょうがっこう よ がっこう せいしんせい いどりよく しょぞん ほごしゃ みなさま ちいき
同様、相沢小学校をより良い学校にしていくために誠心誠意努力していく所存です。保護者の皆様、地域の

みなさま ちからぞ ねが いた
皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い致します。

さくら め ほな うつく め さくら うつく ささ みき
桜を愛でるときには、つい花の美しさに目がいきがちですが、あの桜の美しさを支えているのは、幹であ

ね わす さくら き ちちゅう たいへん おお ね ほ あんてい え
り根であることを忘れてはなりません。桜の木は、地中に大変大きな根を張ることで安定を得ているそうです。

はかな はな そうぞう ほど ふと みき ね そんざい
あの 儂げな花のイメージからは想像もできない程、ごつごつとして太いしっかりとした幹、そして根っこが存在
します。

ね おお そだ はな さ りっぱ み むす ひと あ しょうがっこう
「根を大きく育てれば、きれいな花が咲き、立派な実を結ぶ。」このことを人に当てはめるならば、小学校にお

きょういく ね そだ じき ほか ひと い うえ ひつよう きそてき ちから そだ
ける教育は、まさに根を育てる時期に他なりません。人が生きていく上で必要な基礎的な力を育てることが

せきむ にんしき ね そだ みず ようぶん ひつよう やくめ は がっこう かにい
責務だと認識しておりますが、根を育てるためには水や養分が必要です。この役目を果たすのが学校であり、家庭

ちいき おも か ね そだ き
であり、地域なのだと思います。そのどれもが欠けても、根はすくすくと育たない気がします。

こ ね おこな あいざわしょうがっこう ほんねんど ほごしゃ みなさま ちいき みなさま
子どもたちの根づくりをしっかりと行っていくために、相沢小学校は本年度も保護者の皆様・地域の皆様と

れんけい はか こ すこ せいちょう めざ ほんこう きょうしよくいんいちがん がんば
いっそうの連携を図り、子どもたちの健やかな成長を目指して、本校の教職員一丸となって頑張っています。

りかい きょうりよく ねが
ます。どうぞご理解・ご協力をよろしくお願い致します。